

2008年4月23日(水) 13時～
世界一大きな授業でギネスに挑戦！！



2008.03.24

報道機関各位

国際理解教育でギネスに挑戦！ 「世界一大きな授業」

途上国で教育支援を行う NGO28 団体からなる、教育協力 NGO ネットワーク (JNNE、事務局=東京都新宿区、代表=片山信彦)は、日本全国の小学校、中学校に対し、世界の子どもたちと同じ時刻に同じ内容を一齐に学ぶ「世界一大きな授業」への参加を呼びかけている。授業は、4月23日(水)午後1時から、日本全国の小学校、中学校で実施してもらう。(授業時間としては、グリニッジ時刻午前4時、午前8時、午後3時が設定されている。日本時間では、午後1時、午後5時、午前0時。)

この授業の目的は、G8サミットの議題のひとつでもある、学校に行けない世界の子どもたちのことを理解することで、特に児童労働や紛争のため教育の機会を奪われている子どもが世界に7200万人もいることや教科書や教員、施設の不足のため教育の質の悪さも多くの途上国では問題となっていることを学ぶ。授業は、10分以上で、参加する学校の先生に行ってもらう。実施するための教材として、途上国の教育についての写真のポスターと教員用の授業案は事務局から無料で提供される。参加単位は、学級、学年、全校レベルのいずれでも可能。

「世界一大きな授業」は、世界180カ国の教育分野NGOが、2001年以降毎年4月下旬に行っているもので、今年の授業には200万人以上に参加してもらうことで、ギネスブックの記録更新を目指す。日本での今回の取り組みは、文部科学省、外務省(予定、申請中)、JICAが後援。主催者の教育協力NGOネットワーク(JNNE)は、日本全国の小・中学校100校、1万人の参加を目標としている。

「世界一大きな授業」へ参加するには、4月14日までに申込書を事務局までFAXする。申込書は、キャンペーンのホームページ(<http://jnne.org/gce2008.html>)からダウンロードするか、または、直接キャンペーン事務局まで請求する。

本件についてのお問い合わせは下記までお願いします。
教育協力NGOネットワーク事務局 担当 三宅、松本 (社)シャンティ国際ボランティア会(SVA) 気付〒160-0015 東京都新宿区大京町31 TEL:03-5360-1233
FAX:03-5360-1220 メール gaw2008@hotmail.co.jp